

夏休み前の集会での講話

みなさんこんばんは。明日から、夏休みですね。

4月のはじめに皆さんの前で話をしてから70日間の学校がありました。毎日、頑張った人も多かったです。そして今日、こうしてみなさんが学校に来て、顔を見ながら話ができ、とても嬉しく思っています。

さて、みなさんはスマホをよく見えていますね。何を見ているのでしょうか。スマホは便利ですね。便利すぎて、手放せなくて、スマホ中毒という言葉があるくらいです。とはいっても、しょせん道具ですから、使うのは人間です。うまく使って有意義な時間の使い方をしたいものです。

先日、ニュースサイトで、「(プロ野球)ドラフト1位で成功する人とならない人の差」という記事を読みました。元近鉄バッファローズ、横浜ベイスターズの選手で引退してからはベイスターズのコーチとして活躍した中根仁さんのインタビュー記事です。その中で、壁にぶち当たった時にどんな選手が伸びるのかを話されている箇所がありました。どんなタイプの選手だと思いますか？

壁に当たってからまた伸びる選手はみんな、自分の頭で考えて、自分で行動しているということです。「言われたことだけやる選手」「やらされている選手」はいくら力があっても厳しい。プロでレギュラーになれるのはひと握り。それ以外の選手は失敗して、壁に跳ね返されて、自分に絶望して・・・そこから頑張るしかない。「自分」を持つことは大事だし、頑固でもいいですが、視野が狭くて誰のアドバイスにも耳を貸さない選手は活躍するのは難しい。人の意見を聞いたうえで役に立つことを受け入れる選手や、頭の切り替えの速い選手は上達のスピードが速いと記事には書かれていました。

ここに書かれていることは、学校や職場で先輩や上司からよく聞く話と同じです。プロ野球選手という選ばれた人たちであっても、大切なことは同じですね。

春からみなさんを見ていて、成長しているなと感じる部分があります。担任の先生から注意されたことが少しずつできるようになったり、こつこつと取り組む姿勢が身についたりしていると思います。ひょっとして無意識にやっているのかもしれませんがね。意識して、自分なりに考えて行動できればもっと変化が現れるのでしょうか。

明日から夏休みです。どんな毎日をごすごすかは、皆さん次第です。いろんな場面で今日お話しをした『人のアドバイスに耳を傾け、自分で考えて行動』を大事にしてみましょう。

そしていろいろな経験を積み、ひとまわり成長し、夏が終わった時に、みなさんに会えることを楽しみにしています。